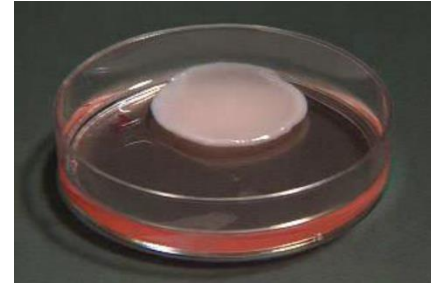




トム・ノバク博士 (中央) セルラーダイナミクス
インターナショナル



山中伸弥博士 (中央)、アービング・ワイズマン博士 (右)、ポール・バーグ博士 (左)



澤芳樹博士が開発する心筋シート

2015 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ

～再生医療：Let's Talk Business～

ご案内

(2015年11月12-13日 於：サンフランシスコ)

共催：アライアンス・フォーラム財団 / 日本国政府

Web: www.wafsf.org



2013 WAFSF で基調講演を行う山中伸弥博士



2013 WAFSF でNHK によるインタビューを受ける財団代表理事 原丈人



世界各国から350名以上が参加した2014WAFSF

**ALLIANCE
FORUM
FOUNDATION**

Organization in Special Consultative Status with the UN ECOSOC

平成 27 年 4 月 吉日

2015 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ開催のご案内

拝啓 平素よりアライアンス・フォーラム財団へ格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当財団では本年 11 月 12 日～13 日に、サンフランシスコにおいて、2015 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ（2015 WAFSF）を開催いたします。再生医療を取り上げ 3 年目となる今回の国際会議は、「Let's Talk Business」をテーマに、再生医療の分野で活躍する日米のトップ研究者・企業経営者・関係団体代表がサンフランシスコに一堂に会し、国境を超えた事業化・産業化の戦略を議論し、早期実現に繋げることを目的といたします。

幹細胞技術を核とする再生医療の分野では、ノーベル賞受賞者の山中伸弥教授を中心とする日本の研究者が世界を牽引しており、日本政府も再生医療をアベノミクスの「成長戦略」の重点の一つに定め、研究資金の拡大や、再生医療製品の早期承認制度、特区の構想を通じ、強力に推進しております。日本の産業団体である再生医療イノベーションフォーラム（FIRM）の会員も年々増加し、本年度は既に 100 社を超えており、再生医療を実現化する準備体制が各関連分野で整いつつあります。

このような中、2015 WAFSF は、再生医療を推進する「オールジャパン」体制を積極的に海外へ発信し理解と協力・参加を促すことにより、日本の戦略が、日本のみでなく海外での再生医療事業を促進させる効果も期待できます。それだけではなく、アメリカをはじめとした海外の再生医療関係者とのネットワークを構築することにより新たな事業機会を発掘する機会にもなります。

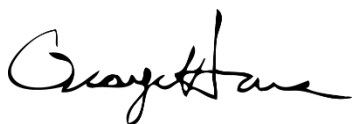
つきましては、2015 WAFSF へのご参加を通じ、再生医療の実現にご助力頂けますよう、お願いを申し上げます。2015 WAFSF の概要を添付いたしますので、ご参照下さい。ご質問等ございましたら、アライアンス・フォーラム財団サンフランシスコ事務所の石倉（tishikura@allianceforum.org）までご連絡下さい。

ご高配のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

アライアンス・フォーラム財団 代表理事
内閣府参与
原 丈人

アライアンス・フォーラム財団 評議員
2015 WAFS 共同議長
松浦 功



ALLIANCE
FORUM
FOUNDATION

Organization in Special Consultative Status with the UN ECOSOC

2015 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ 概要

(1) プログラムテーマ

「Regenerative Medicine: Let's Talk Business」

(2) 日時

2015年11月12日(木)～11月13日(金)

(3) 場所

Golden Gate Club in the Presidio (135 Fisher Loop, San Francisco, CA 94129, USA)



加州再生医療機関のエローナ・バウム氏(左)
ロシュのジェイソン・コロマ博士(右)

(4) ビジョン

再生医療技術の事業化と産業化を通じ、患者がいち早く新しい治療にアクセスできるよう、再生医療実現の支援をする。

(5) 目的

- ネットワークの機会を提供し、研究者と企業間、企業と企業間でのパートナーシップ組成を促進する。
- 再生医療分野で日米の架け橋となり、日本企業の米国進出をはじめ、特区や改正薬事法を利用した米国ベンチャーの日本展開などの嚆矢となる。
- 再生医療事業化の先行事例を取り上げ、再生医療治療の早期事業化を促す。
- 機器やサービスといった周辺産業が、研究者や治療開発を行う企業と交流する場を提供することにより、再生医療産業化を推進する。

(6) プログラムの特徴

- 再生医療分野の研究者とその成果を実用化する起業家、そこに投資を行う大企業のパートナーの3者による事例発表
- 再生医療事業化と産業化に向けた戦略と課題(資金調達、法制度、インフラ等)についての議論
- 日本とアメリカにおける再生医療分野の産学官リーダーが一堂に会し交流する場の提供

(7) 対象

- 再生医療の基礎および実用化研究を担う研究者
- 企業経営者・エグゼクティブ
 - 再生医療治療の開発をする企業
 - 再生医療周辺産業に属する企業
 - 製薬・バイオ大手企業
 - インキュベーター、アクセレレーター、ベンチャーキャピタル
 - その他投資会社

- 政府関係者

登録・最新情報

Web: www.wafsf.org

お問い合わせ先

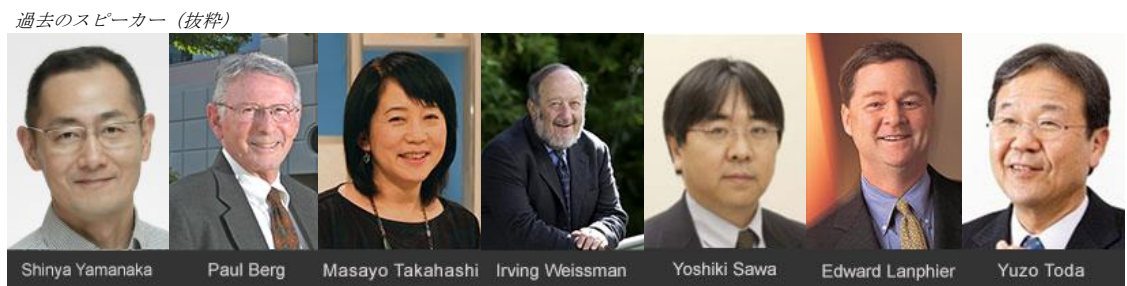
アライアンス・フォーラム財団
サンフランシスコ事務所・石倉
tishikura@allianceforum.org



2015 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコの特徴

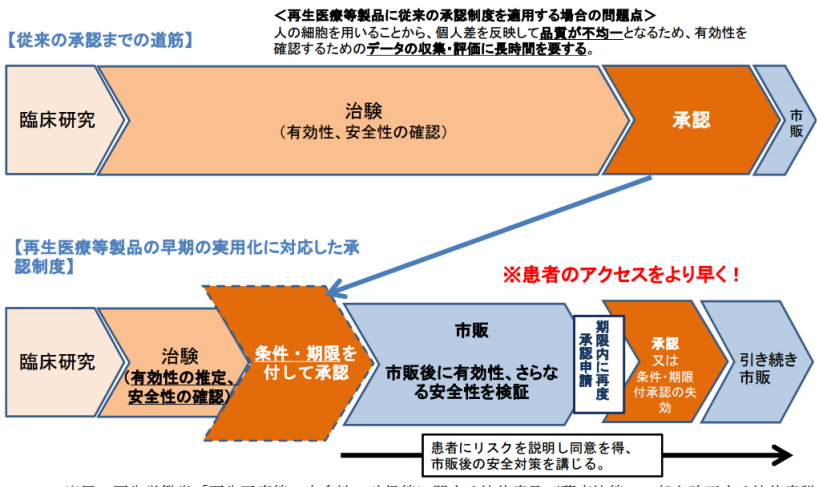
トップ・スピーカー

・ノーベル賞受賞者をはじめとする再生医療分野のトップクラスの研究者や産業団体代表が活発な議論を展開



オールジャパン

・質の高い研究、発展した周辺技術、制度上の優遇といった面で日本を売り込み、日本企業の海外展開、米国ベンチャーの日本パートナー発掘なども支援

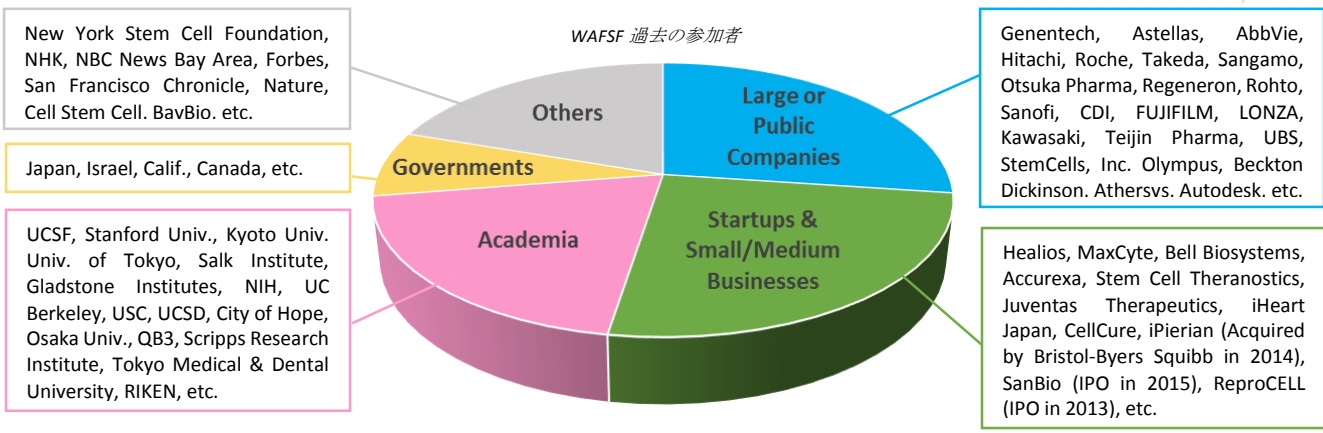


日本からの視察団の様子

出展：厚生労働省「再生医療等の安全性の確保等に関する法律案及び薬事法等の一部を改正する法律案説明資料」

ネットワーキング

・スピーカーをはじめ、トップクラスの研究者、大手企業やベンチャー企業の起業家・経営者、投資家、政府関係者、資金提供機関などが集結



Organization in Special Consultative Status with the UN ECOSOC

ワールド・アライアンス・フォーラム 特別プログラムのご案内

2015
11/11(水) 12(木) 13(金)

昨年大変好評を得た、サンフランシスコ・ベイエリア、シリコンバレー地区の再生医療分野研究機関・企業を巡る特別プログラム。フォーラムと合わせ、充実の3日間を企画致しました。初日の夜には、慶応義塾大学の岡野栄之教授との夕食会もございます。この機会に是非ご検討ください。なお、参加可能な人数に限りがあり、また特にこの時期のサンフランシスコはホテルが大変込み合いますので、お早めにお問い合わせください。

過去の主な視察先

<研究所>

スタンフォード大学幹細胞・再生医療研究所、UCSF イーライ・アンド・イデイス・ブロード再生医学・幹細胞研究センター、ほか

<企業>

アキュレクサ社、ステム・セル・セラノスティック社、ベル・バイオシステムズ社、サンバイオ社、ステムセルズインク社、ほか

<インキュベーター>

QB3、StartX Med、ほか



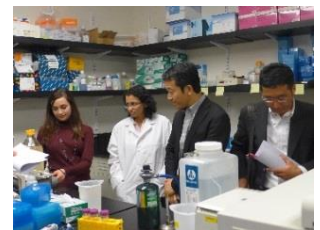
Dr. Daniel Lim, UCSF



スタンフォード大学



StartX Med



ベル・バイオシステムズ社

スケジュール(仮)

日次	月/日(曜日)	
1日目	11/11(水)	8:30 am ホテル日航サンフランシスコに集合・出発 (終日 サンフランシスコ・ベイエリアの大学・研究機関等、3~5ヶ所の視察) 7:00 pm 慶応義塾大学 岡野栄之教授との夕食会
2日目	11/12(木)	終日 フォーラム参加
3日目	11/13(金)	終日 フォーラム参加

参加料金(お1人様)

早期割引料金 9/30(水)迄 **\$1,575**

通常料金 10/1(木)以降 **\$1,775**

- ・ 料金に含まれるもの: \$800(通常)のフォーラム参加費、視察中の通訳、2日分フォーラム参加費及び同時通訳費。3日分のホテル日航サンフランシスコから視察場所もしくはフォーラム会場までの往復の交通費及び昼食。1日目の夕食。
- ・ 料金に含まれないもの: 日本からの往復航空券、ホテル宿泊費、3日間の集合場所まで・解散場所から(ホテル日航サンフランシスコ)の交通費。1日目の朝食。
- ・ 最少催行人数: 25名

お申し込み・お問い合わせ

アライアンス・フォーラム財団 サンフランシスコ事務所
Eメール(石倉・藤田): programs@allianceforum.org
電話: +1 (415) 433-7118 (日本語で対応いたします。)

ALLIANCE
FORUM
FOUNDATION

501(c)3 Organization in Special
Consultative Status with the UNECOSOC

2014 World Alliance Forum in San Francisco



「2014 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ」（アライアンス・フォーラム財団主催）が2014年11月6日～7日にイノベーションの中心地、米国シリコンバレーにて開催されました。当フォーラムでは、幹細胞技術・再生医療分野で活躍する起業家、経営者、研究者、政府関係者、患者団体代表者、資金提供機関代表者などのステークホルダー約350名が一

堂に会し、再生医療の産業化について議論しました。

iPS細胞の発見によりノーベル医学生理学賞を受賞された山中伸弥博士がフォーラム1日目の基調講演を行いました。2日目には、そのiPS細胞を加齢黄斑変性患者へ世界初の臨床応用を実施し、ネイチャー誌「今年の10人」（2014年）にも選ばれた高橋政代博士が基調講演を務めました。また、2013年の当フォーラムに引き続き、ノーベル化学賞受賞者で、カリフォルニア州再生医療機構「CIRM」の設立に貢献したポール・バーグ博士も登壇し、細胞治療や再生医療に於ける産学パートナーシップの重要性を議論しました。



日米の産業団体であるFIRMおよびARMの代表者をはじめ、多くの企業経営者や起業家も当フォーラムに参加し、産官学のネットワークを広げるとともに、薬事法改正による再生医療製品の早期承認制度など、再生医療の事業化と産業化に向けた戦略が議論されました。



2014 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコは、アライアンス・フォーラム財団の主催、日本国政府の共催、デフタ・パートナーズ、三井不動産株式会社、ロート製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、ユニオン・バンク、アステラス製薬株式会社、中外製薬株式会社、セルラー・ダイナミクス・インターナショナル、ユベントス・セラピューティックス、ロンザ、メディポスト、株式会社メガカリオン、萬法律事務所ほかの

協賛、アライアンス・フォー・リジェネラティブ・メディシン、ベイバイオ、加州再生医療機構、QB3、京都大学iPS細胞研究所、社団法人再生医療イノベーションフォーラム（FIRM）、グラッドストーン研究所、公益財団法人原総合知的通信システム基金、一般社団法人日本再生医療学会ほかの後援を受け開催されました。

ALLIANCE
FORUM
FOUNDATION

Organization in Special Consultative Status with the UN ECOSOC

2013 World Alliance Forum in San Francisco



アライアンス・フォーラム財団は、2013年11月15日サンフランシスコにて産学官より250名以上の参加者を迎え、2013ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ「幹細胞の未来」を開催致しました。

2013ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコは、2012年ノーベル医学生理学賞受賞者山中伸弥教授（京都大）のほか、中内啓光教授（東京大）、岡野栄之教授（慶応大）、アーヴィング・ワイズマン教授（スタンフォード大）、ディーパック・スリヴァスタヴァ博士（グラッドストーン研究所）ら幹細胞と再生医療分野のエキスパートを招き、幹細胞技術の可能性と実用化そして産業化における課題について考察する場となりました。

午前中のプログラムでは、幹細胞技術の発展によって生まれる新しいビジネスチャンスに注目し、製薬分野での活用から、幹細胞バンクや3次元印刷による再生医療までの幅広い応用方法と経済効果が指摘されました。企業ショーケースには、ロート製薬のほか、リプロセルやセルラー・ダイナミクス・インターナショナル、メディポストなどの新興上場企業、アイ・ペリアンなど注目のスタートアップ、計10社以上が参加しました。

午後のプログラムでは、安西祐一郎博士（日本学術振興会理事長）や中村道治博士（科学技術振興機構理事長）、製薬企業の治験部門・提携部門代表、インキュベーターや投資家が集い幹細胞技術の実用化に向けた産学連携の形について議論された後、第一線で活躍する研究者が最新の技術と将来へのビジョンを共有しました。パネルディスカッションには、ノーベル賞受賞者のポール・バーグ博士（スタンフォード大）も加わり、再生医療が私たちの生活をどのように変えるかについて議論されました。



2013ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコは、ロート製薬、三井不動産、ヒロ&ベティ・オガワ、デフタ・パートナーズ、ユニオンバンク、タケダ、オートデスク、トミー精工、その他多くの企業の協賛の元、カリフォルニア再生医療研究所、QB3カリフォルニア生物科学研究所、グラッドストーン研究所、再生医療連合、原総合知的通信システム基金、アライアンスフォーラム・エグゼクティブ・クラブの特別後援を受け、アライアンス・フォーラム財団と日本国政府

（在サンフランシスコ総領事館）との共催として企画されました。

ALLIANCE
FORUM
FOUNDATION

2013・2014年の主な参加者

- 東京大学医科学研究所 元所長・名誉教授 **新井賢一**博士
 - 日本学術振興会 理事長 **安西祐一郎**博士
 - MUFG ユニオン・バンク 会長 **岡昌志**氏
 - 慶応大学大学院医学研究科 委員長 **岡野栄之**博士
 - 大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科 教授 **澤芳樹**博士
 - 理研網膜再生医療研究開発プロジェクト リーダー **高橋政代**博士
 - 横浜市立大学大学院医学研究科 准教授 **武部貴則**博士
 - 富士フイルム 取締役・常務、再生医療イノベーションフォーラム 代表理事・会長 **戸田雄三**氏
 - 東京大兼スタンフォード大学 教授 **中内啓光**博士
 - 科学技術振興機構 理事長 **中村道治**博士
 - アライアンス・フォーラム財団 代表理事、内閣府参与、ソーク研究所 国際評議員 **原文人**氏
 - ロート製薬株式会社 会長兼 CEO **山田邦雄**氏
 - 京都大学 iPS 細胞研究所所長、グラッドストーン研究所 上級研究者、ノーベル生理学医学賞受賞 **山中伸弥**博士
 - 在サンフランシスコ日本総領事館 総領事 **渡邊正人**氏
 - **Dr. Paul Berg**, Director Emeritus & Nobel Laureate, Stanford University Beckman Center for Molecular and Genetic Medicine
 - **Dr. Arlene Chiu**, Director, Office of New Research Initiatives, City of Hope
 - **Dr. Jason Coloma**, Head of Venture & Innovation, Roche Partnering
 - **Dr. Regis Kelly**, Director, California Institute for Quantitative Biosciences (QB3)
 - **Dr. Arnold Kriegstein**, Director, UCSF Center of Regenerative Medicine and Stem Cell Research
 - **Mr. Edward Lanphier**, President & CEO, Sangamo Biosciences, Inc.; Chairman, Alliance for Regenerative Medicine (ARM)
 - **Dr. Ronald Law**, Vice President, New Frontier Science, Takeda Pharmaceuticals International
 - **Mr. Martin McGlynn**, CEO, StemCells, Inc.
 - **Mr. Robert Palay**, Chairman & CEO, Cellular Dynamics International
 - **Dr. Mahendra Rao**, Former Director, NIH Center for Regenerative Medicine
 - **Ms. Susan Solomon**, CEO, New York Stem Cell Foundation
 - **Dr. Deepak Srivastava**, Director, Gladstone Institutes
 - **Dr. Jonathan Thomas**, Governing Board Chair, California Institute of Regenerative Medicine (CIRM)
 - **Dr. Alan Trounson**, Former President, CIRM
 - **Dr. Irving Weissman**, Director, Stanford University Institute for Stem Cell Biology and Regenerative Medicine
 - **Mr. Michael Werner**, Executive Director, Alliance for Regenerative Medicine
 - **Dr. Sandy Williams**, President, Gladstone Institutes
 - **Dr. Joseph Wu**, Director, Stanford Cardiovascular Institute
- ほか多数



日経新聞より抜粋 (2014年1月31日) 「iPS治療元年」